

| |
|---|
| 1 文献名 |
| 『百年の歩み 尾鷲市早田小学校』 |
| 2 学校名 |
| 早田小学校 |
| 3 災害名 |
| 昭和 19 年（1944 年）昭和東南海地震 |
| 4 記述の概要 |
| <p>（1）雨や風、地震などの様子</p> <p>大津波は、引き汐で防波堤付近までが干潟になり、海の底が「ブクブク」湧いて水かさを増し、盛り上がって小山のような波になって押し寄せては引き返し、数回繰り返した。</p> <p>第二回目の波の高さが一番大きく、水位は神社の拝殿の中ほどまで達した。（P40）</p> |
| <p>（2）学校内や地域の被害の状況</p> <p>三年生以上が授業中の中で発生、学用品は散乱し、棚の教材は次から次へと落下した。</p> <p>裏の石垣が崩れ落ち、運動場にも大きな亀裂が幾か所もできた。</p> <p>幸いにも他村のように、死者、大きなけが人、流失した住家はなかったが、浸水の被害を受けた人たちは、後片づけに幾日も要した。（P40）</p> |
| <p>（3）復旧の様子</p> <p>高学年の生徒が手分けして、被害を受けた家々の手伝いにまわった。</p> <p>教科書や学用品を流失した生徒も多く、卒業した人たちから借りたり、友達に見せてもらったりして、勉強を続けた。（P40）</p> |
| <p>（4）体験談</p> |
| <p>（5）教訓など</p> <p>先生達の沈着冷静な先導で、一人のけが人もなく、運動場に避難集合した。（P40）</p> |
| <p>（6）その他</p> |